

中学部 作業学習（布加工班）学習指導案

日 時：令和4年11月22日（火）10：30～12：10

場 所：布加工室

生 徒：男子3名、女子3名 計6名

指導者：高橋由布子T1、今野洋美T2

齋藤健T3、永澤淳子T4

1 単元名 冬の模様の布巾やバネロポーチを作ろう～わくわく販売会②・PTA販売会に向けて～

2 単元の目標（育成を目指す資質・能力）

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・担当工程における注意点が分かり、ミシン掛けやステンシルに取り組む。	・買い手が喜ぶような製品の仕上がりについて考え、製品づくりに生かす。	・自分たちで作った製品が認められる経験を通して、喜びや満足感を十分に感じながら製品づくりや販売活動に取り組もうとする。

3 生徒と単元

(1) 生徒について

6名全員が初めて布加工班に所属する。学習への参加状況を含めて実態に差があるものの、これまでの学習の積み重ねにより、布巾やバネロポーチの製作において担当工程や一連の作業内容を理解し、手順に沿ってミシン掛けやステンシルでの模様付けに取り組む姿がそれぞれ見られるようになってきた。完成品を家族にプレゼントしたり、校外で販売したりしたことで、自分たちが一生懸命製作すると、身近な人や買い手が喜んでくれるという実感をもつことができた。そして、「喜んでくれる人のためにもっと作りたい」「ミシン掛けやステンシルの作業が楽しい」などの声が聞かれるようになり、進んで作業に取り組む姿が増えてきた。一方で、買い手が喜ぶような仕上がりのよい製品について具体的に考え、自分の作業内容や担当工程における注意点につなげていくことはまだ難しく、課題が多い。

(2) 単元について

これまでの学習により、作業内容や道具の使い方が分かり、手順に沿って作業したり、目標枚数を目指して取り組んだりすることが身に付いてきた。家族や買い手にアンケートを実施し、「どのような布巾だとうれしいか」尋ねたところ、「季節に合った模様で仕上がりのよいきれいな製品が欲しい」という意見が多数あり、喜ばれるポイントが分かった。買い手が求める仕上がりのよいきれいな製品とはどのような製品かについて自分たちで具体的にイメージして、担当工程における注意点と結び付けながら製作することで、喜んでくれる人のためにより一層夢中になって取り組もうとする姿が期待できると考え、本単元を設定した。

(3) 指導について

- ・自分の役割が分かり、進んで作業に取り組むように、本時における作業内容や担当工程などについて、視覚的に分かりやすく提示する。
- ・きれいな製品をつくるための注意点について、工程ごとに分かれて話し合い、自分たちの考えを表にまとめて掲示する。
- ・必要な道具や置き位置、作業中の確認事項が分かり、準備・製作・片付けと、一連の作業に進んで取り組むように、個の課題に応じた教材・教具を工夫したり、注意点を写真や簡単な文章で示したチェックシートを手元に置いたりする。
- ・報告時、観点表と完成品を見比べて、仕上がり具合について一緒に確認する。
- ・担当工程以外にも目を向けることができるよう、ステンシルをした布巾をミシン担当に渡したり、

まとめ場面で完成した製品を全員で見合ったりする機会を設定したりする。

- ・本時の取り組みを確実に次時に生かすことができるように、日誌を記入して個別の振り返りを行い、その後次時の目標をすぐに記入するようにする。

4 指導計画（総時数 39 時間）

時数	主な学習活動	主な目標 資質・能力 【知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等】	主な評価規準 観点 [方法] 【知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 主=主体的に学習に取り組む態度】
1	○オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・販売会に向けて、製品を作ることを知る。知 ・アンケートを参考にして、買い手が喜ぶような製品の仕上がりについて考える。思 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売会の日時や場所を知り、見通しをもつ。知 [言動の観察] ・きれいな製品になるために気を付けるポイントを言葉で表現する。思 [言動の観察]
34 (本時 33・34 /34)	○製品作り	<ul style="list-style-type: none"> ・担当工程における注意点に気が付き、マシン掛けやステンシルに取り組む。知 ・買い手が喜ぶような製品の仕上がりについて考え、製品づくりに生かす。思 ・製品の完成や目標枚数の達成に満足感や成就感を感じながら繰り返し製品作りに取り組もうとする。学 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順通り正確に作業している。知 [道具の操作の観察] ・きれいな製品になるために気を付けるポイントを言葉で表現する。思 [言動や道具の操作等の観察、日誌の記述] ・注意点に気を付けながら目標に向かって作業に取り組んでいる。主 [作業中の観察]
	○販売準備	<ul style="list-style-type: none"> ・注意点に気を付けて製品のラッピングをする。知 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順通りにラッピングをする。知 [道具の操作の観察]
2	○販売 11月30日 ・わくわく販売会② (各班代表2名参加)	<ul style="list-style-type: none"> ・販売における自分の役割が分かり、進んで挨拶や接客、金銭の受け渡し等の販売活動に取り組む。知 思 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い手に対して、練習どおりに挨拶や金銭の受け渡し等の接客をする。知 思 [言動や活動等の観察]
	○販売準備及び練習 (販売会参加者以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・買い手が喜ぶポイントを考えながら製品のラッピングをしたり、販売に向けた練習を行ったりする。知 思 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順通りにラッピングや販売練習をする。知 [道具の操作の観察] ・ラッピングをするときの気を付けるポイントを言葉で表現する。思 [言動や道具の操作等の観察、日誌の記述]
1	○販売 12月2日 ・PTA販売会	<ul style="list-style-type: none"> ・販売における自分の役割が分かり、進んで挨拶や接客、金銭の受け渡し等の販売活動に取り組む。知 思 ・製作において気を付けたことをおすすめポイントとして説明する。思 学 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い手に対して、練習どおりに挨拶や金銭の受け渡し等の接客をする。知 思 [言動や活動等の観察] ・製作時に気を付けたことを言葉で表現して買い手に伝える。思 主 [言動の観察]
1	○振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・販売での売れ行きやそれぞれの頑張り、買い手の反応について振り返り、お互いに認め合う。思 学 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した製品を見比べながら、工夫したところや完成度が向上したところなどを振り返る。思 主 [言動や活動等の観察、日誌の記述]

5 本時の計画（39 時間中の 33・34 時）

(1) 本時の目標

- ・担当する工程の注意点を気付けながらミシン掛けやステンシルの作業に取り組む。 知 思

(2) 目標と手立て

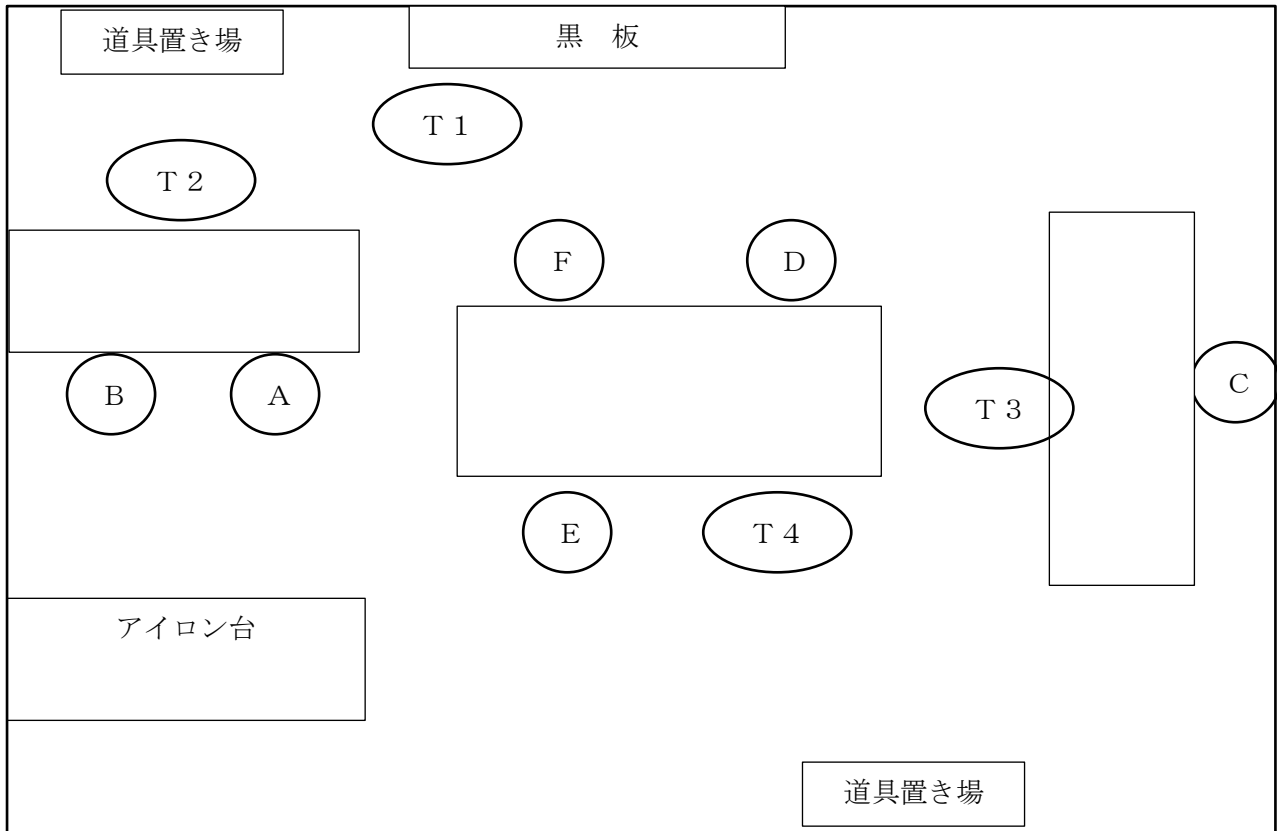
氏名 (性別)	単元の目標	本時の目標	手立て
A (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン掛けの工程の注意点が分かり、実際に気付けながら布巾やバネ口ポーチを製作する。 ・販売会があることを知り、目標枚数の完成に向けて製品づくりに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縫い目の直線部分でスピードを速めたり、返し縫い部分で緩めたりしてスピード調整をしながら布巾の仕上げ縫いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で調整できるように、ミシンの基本となるスピード位置に印を付ける。
B (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン掛けの工程できれいに仕上げるための注意点を気付き、実際に気付けたり、確認したりしてバネ口ポーチを製作する。 ・販売会までの見通しをもち、進んで製品づくりや販売活動に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バネ口ポーチの製作で、注意点を声に出して確認してから 5 c m 程度の直線縫いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン掛けをする前に注意点を自分の言葉で説明する場面を設ける。
C (男)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容が分かり、教師と一緒に冬の模様のステンシルをする。 ・休憩を取りながら決められた枚数のステンシルを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の作業内容が分かり、教師と一緒にステンシルを 2 枚完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の付き具合が即時に実感できるように、加圧式の版を用意する。
D (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンシルの工程できれいに仕上げるための注意点を気付き、実際に気付けながら冬の模様のステンシルをする。 ・販売会を楽しみにして、進んで製品づくりや販売活動に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・版がずれないように左手で押さえたり、クリップで留めたりして雪うさぎの模様のステンシルを 2 枚完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を意識しながら取り組めるように、写真を用いるなど視覚的に分かりやすくまとめたカードを手元に提示する。
E (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業内容が分かり、教師と一緒に仕上がりの善し悪しを確認しながら決められた模様のステンシルをする。 ・販売会があることを知り、繰り返し製品づくりに取り組んだり、販売活動に参加したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模様以外の部分にインクを付けないための注意点を受け入れて、決められた枚数のステンシルを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模様以外の部分にインクを付けないようにするためのポイントについて、報告時に観点表を見ながら一緒に確認する。
F (女)	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンシルと刺しゅうで好きな作業内容を選び、時間いっぱい取り組む。 ・販売会での活動内容を知り、教師と一緒に販売に向けた製品づくりや袋詰めに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンシルと刺しゅうで好きな作業内容を選び、1 枚完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なポイントごとに簡単な説明を加えながら手本を示す。

(3) 展開

時間	学習活動	形態	指導の上の留意点、教師の働き掛け
10:30 10分	1 今日の自分の目標を確認し、黒板に貼る。 2 始めの会をする。 ・出欠確認 ・めあての確認 本時のめあて：布巾やバネロポーチをきれいに作るには？	個人 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に立てた本時の目標を想起できるように、<u>前時の振り返りで記入した日誌や写真、具体物等を見て関連付けながら本時の課題を一緒に確認する時間を設ける。</u> ・Eが見通しをもって活動するように、<u>事前に作業時間や作業内容について掲示物を見ながら一緒に確認する。</u> ・Fが安心して作業に取り組めるように、T4と一緒に活動場所や作業内容を相談して決める。
10:40 60分	3 作業をする。 ○ミシン掛け：A、B ・道具の準備 ・直線縫い ・糸の始末 ・アイロン掛け ○ステンシル：C、D、E、F ・道具の準備 ・ステンシル ・アイロン掛け（D、E）	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する道具の置き場が分かり、進んで準備や片付けができるように、置き場を固定し、棚や引き出しに名前シールを貼る。 ・Bがミシン掛けで直線に縫うことができるように、布に始点終点の印を付ける。 ・ステンシルの手順が分かるように、版やインクなどの道具に使う順の番号を付ける。 ・Cが気持ちを向けて作業に取り組めるように、1枚完成後、T3と別室で休憩する時間を設ける。 ・Eが入室できない場合は、T4が別室で理由を聞いたり、「〇分経ったら布加工室に戻りましょう」などと誘い掛けたりして様子を見届ける。 ・安全にアイロンを扱うことができるように、温度調節やアイロン掛けなどの操作を近くで見守る。 ・ミシンの縫い目やステンシルの仕上がり具合などの留意点について、自分で善し悪しが判断できるよう、報告時に観点表を提示して一緒に確認する。 ・報告時、花丸マークなどを用いて視覚的に分かりやすく即時評価する。
11:40 15分	4 片付け、清掃をする。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・役割が分かり、進んで掃除に取り掛かるように、担当箇所や係を固定し、手順を掲示する。
11:55 10分	5 本時の振り返りをし、次時の目標を決める。	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に応じて振り返りの教材（観点表、映像、完成品など）を準備し、次時の目標を日誌に記入する時間を設ける。 ・次時に向けて、改善点や継続する点、効率的な作業の仕方等を発問して生徒の言葉を引き出したり、補足したりする。
12:05 5分	6 終わりの会をする。 まとめ：〇〇〇に気を付けたらきれいにできた。 きれいな布巾が___枚完成した。 ・本時の振り返りを発表したり、聞いたりする。 ・完成した製品を見合う。	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感を感じられるように、振り返りを発表したり、製品を見合ったりする機会を設け、班全体で頑張りを共有する。 ・次時の意欲につながるよう、販売会までの日数を確認し、買い手が楽しみにしていることを伝える。

※「自分の役割」に取り組むための手立ては_____線、めあてにつながる振り返りの手立てはゴシック体で示す

(4) 配置図
布加工室



(5) 準備物

- ・さらし、布、ミシン、裁縫セット、アイロン、アイロン台、タンポ、インク、台紙、ステンシル版、布巾（インク落とし用）、クリップ、滑り止めマット、観点表、ベル、ホワイトボード

(6) 評価の観点

○ミシン掛けやステンシルの注意点が分かり、気を付けながら製作することができたか。

[生徒の発言、作業中の観察、振り返りの内容、日誌の記述で評価]